

移動市長室

筑紫野市すまいの相談センター

—市民の住まいに安心・安全、そしてスマイルを—



通算91回目となる移動市長

室を7月9日(火)に筑紫野市商工会館において開催し、筑紫野市すまいの相談センター(以下、すまいの相談センター)の会員11人と懇談を行いました。



すまいの相談センターは、昭和60年に筑紫野市商工会(以下、商工会)の工業部会員を中心に設立され、市民からの住宅に関する相談業務をはじめ、コミュニケーションを大切に活動を行っています。

今回の懇談では、活動の報告や意見交換を通して、会員の活動に対する思いなどを伺いました。

市民に安心を届けたい

すまいの相談センターは、市民のゆとりある住環境づくりに貢献することを目的に活動しており、今年度で35年目を迎えました。

市民からの住宅に関するさまざまな相談に応じ、会員の事業所が対応する「すまいの相談事業」には、昨年160件を超す相談が寄せられました。この相談事業は、長年にわたり

行っていますが、数年前から相談件数が急増しています。その背景には、社会問題にもなった悪徳業者による住宅トラブルの増加がありました。

住宅に不安を抱えた人に、安心して相談できる窓口があることを知ってもらいたいと、パンフレットの作成や、筑紫野市社会福祉協議会(以下、社協)の車への広告の掲示など、広告宣伝活動にも積極的に取り組んでいます。

設立から続く奉仕活動

毎年秋頃には、社協と連携して、独居の高齢者宅を訪ね、簡単な補修作業などを無償で行う奉仕活動を行っています。

家の困りごとの対処はもちろん、話し相手としても大変喜ばれ、中には感極まって涙ぐまれる人もいます。

うです。「訪問する前に行う下見や準備は大変ですが、訪問先のうれしそうな顔を見ると、行ってよかったな、と思います」と会員は話します。

子どもたちの笑顔のために

地域活性化の取り組みとして、商工会が開催するいきいき商工農フェスタに、無料のリフォーム相談と併せて子ども向けの工作・体験コーナーを出店しています。子どもたちに楽しんでもらうために、同じ内容のものは二度はしないをポリシーに、趣向を凝らして毎年異なるプログラムを考えているそうです。「地域が元気になるには、まず子どもから。どんな内容にするか悩みながらも私たちも楽しんでやっています」と笑顔で語っていました。





信頼関係を大切に

懇談の最後に今後の抱負を伺いました。

「会員は、市内の事業者として誇りを持って会の活動に励んでいます。その積み重ねが信頼を生み、会のさらなる発展にもつながるといいな、と思います。」

家に直したい箇所があってもどこに頼めばいいかわからない、という悩みを持つ人が多くいると思うので、そういった人をはじめ、高齢化社会や災害などに備え、市民の皆さんに安心して任せられる業者ともしっかりできるよう、より一層頑張りたいです」と語ってくれました。

盛んな意見交換を行い、交流を深めることができました。

懇談の中の意見は、今後の市政に生かしていきます。

参加者からの感想

・ 地場の企業として長く続けてきた奉仕活動などを報告でき、大変有意義な会になったと思います。

・ 大切なのは感謝を忘れないことというのを改めて実感しました。この移動市長室を機に、さらに会の裾野が広がっていくことを期待します。

藤田市長の一言

荒瀬会長をはじめとした皆さんが、商工会を背景にもち、また社協の協力を得ながら、知恵を出し合ってそれぞれの事業を行い、誠実に丁寧に活動をしていらっしやる。

特に、独居の高齢者への奉仕活動は、プロの技術をもった人が手助けをしてくれる。受ける人は助かっていると思います。まごころを皆さんの取り組みの中で強く感じました。

今後、住みよい住み続けたいまちづくりに向けて、皆さんの素晴らしいご意見を市政の参考にさせていただきます。本日は、ありがとうございました。



筑紫野市すまいの相談センター

- ・ 増改築相談
- ・ 外壁工事
- ・ 土木工事
- ・ 屋根工事
- ・ エクステリア(屋外)工事
- ・ 花壇・造園工事
- ・ 看板等制作
- ・ 左官工事
- ・ 温水器取付工事

など、住まいに関する相談に応じています。

市内の安心な専門業者が対応します!

● 問い合わせ先

☎(922)2361 (商工会内)